

科目ナンバリング		U-LAS01 10005 LJ38							
授業科目名 <英訳>		東洋史Ⅰ Oriental HistoryⅠ				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 辻 正博	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	月2/月3		配当学年	全回生		対象学生 全学向
[授業の概要・目的]									
「中国を歴史的に理解するための10章」 わが国と中国とは、歴史的にも地理的にも、極めて深いつながりを有している。たとえば、われわれが日常的に使用している文字にしても、漢字は中国から伝来したものであるし、かな文字が漢字に由来したものであることは衆知のことであろう。 にもかかわらず、中国のことをよく知っているか、というと全くそんなことはない—というのが実情であると思う。この講義では、中国を歴史的に理解することを目的として、10の観点から解説を試みたい。これまで不可解として遠ざけてきた中国のことが、少しでもわかるようになれば幸いである。									
[到達目標]									
巨大な隣国・中国について、歴史的観点からの理解を深める。									
[授業計画と内容]									
基本的に以下のプランに従って講義を進める。但し、状況に応じて内容を適宜変更することがある。なお、初回は「ガイダンス」にあて、講義内容の概略について説明を行う。 第2週目以降は、以下の各テーマについて1～2週を費やし、合計15回（フィードバックを含む）の授業を行う。 第1講 中国とChina—「中華」とは何か 第2講 「黄河文明」の歴史的意味 第3講 「礼」とは何か—前近代中国の社会秩序 第4講 家族制度の原理とその矛盾点 第5講 皇帝制度の誕生とその展開 第6講 中華の統一と分裂 第7講 中国史の時期区分 第8講 人材選抜制度 第9講 文書主義と記録 第10講 王朝の正統性と歴史書 まとめとフィードバック									
[履修要件]									
本講義は、同一内容のものを週2回開講するので、いずれか1つのみを履修登録すること。									
[成績評価の方法・観点]									
平常点50%（課題・クイズ40%、出席と参加の状況10%）＋期末レポート試験の成績50%									
-----東洋史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓↓-----									

東洋史Ⅰ(2)

[教科書]

本学の学習支援システム等を通じて、講義資料を配布する。

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

(1) 高等学校の「世界史B」「世界史探究」教科書内容を理解していることを前提として授業を進めますので、よく復習しておいてください。

(2) 講義資料は、原則としてLMSを通じて配布します。事前にダウンロード・印刷して読み込んでおくことを強くお勧めします。

[その他（オフィスアワー等）]

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部